

東北自動車道

白河中央スマートインターチェンジ 開通の効果

○整備前は、矢吹IC周辺地域からの高次医療施設である白河厚生総合病院等への救急医療搬送は国道4号で搬送していたが、スマートIC利用によって渋滞回避により時間短縮し、迅速かつ安定した救急搬送が可能となった。

位置図



病院・消防署員の声

【白河厚生総合病院】

・迅速かつ安定した搬送が可能となり、病院への搬送時間の短縮により、患者への負担も軽減されている。

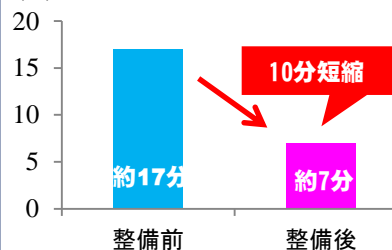
【白河広域消防本部】

・主要医療機関への搬送時もスマートICを利用することで一般道路の状況に左右されず安定した搬送が可能となった。
 ・郡山方面への緊急搬送時には、白河IC利用のための逆方向への進行が少なくなり、時間の短縮及び病傷者への負担の軽減となっている。



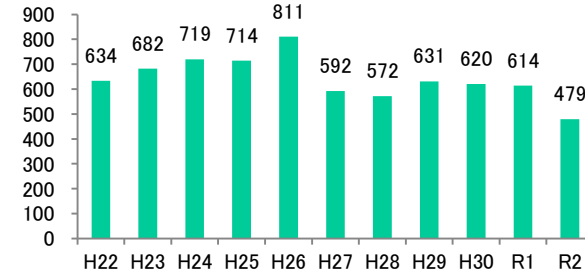
※白河中央スマートIC整備に関するコメントより

▼救急搬送時間の推移 (矢吹IC～白河厚生総合病院)



出典: H27センサスより算出

▼白河中央スマートICを利用した救急搬送件数



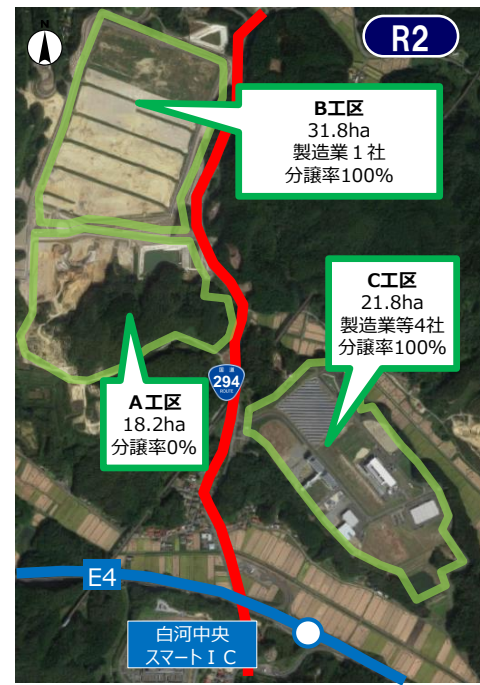
出典: 白河広域消防本部

- 白河中央スマートIC周辺に位置する『工業の森・新白河』では、スマートIC整備後、新たな企業の立地が進み、企業数・雇用人数が増加。
- MGCファーマックス(株)(親会社:三菱ガス化学(株))が国内最大級の完全人工光型植物工場を建設し、100人を超える従業員の雇用に繋がった。(令和元年11月操業開始)

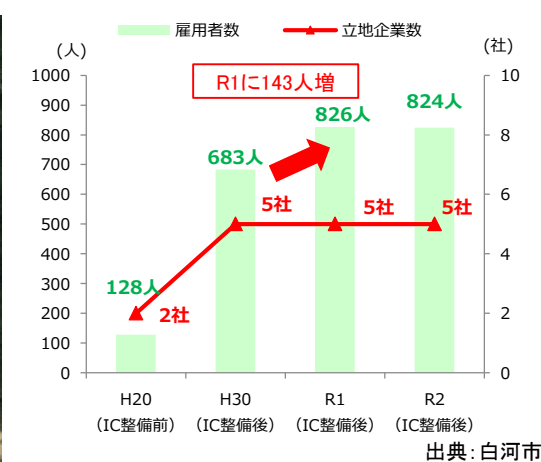
■アクセスルート図



■工業の森・新白河の分譲状況



▼工業の森・新白河の雇用者数・立地企業数



立地企業の声

【三菱ガス化学(株)】
 立地にあたっては、スマートICや新幹線の駅から近く、多様な高速交通体系が整っていることが理由のひとつである。

工業の森・新白河立地企業 ヒアリング結果より



R1操業 MGCファーマックス(株)白河工場イメージ図

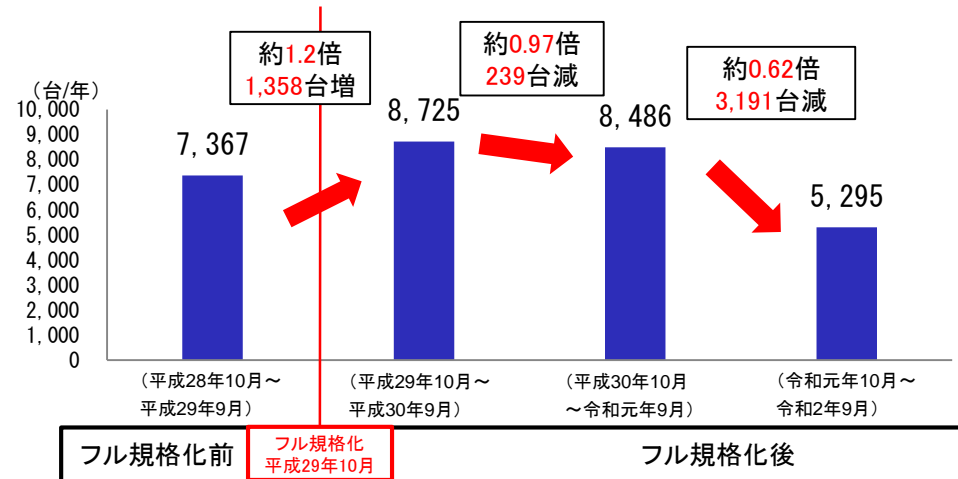
○フル規格化により、特大車を持つ周辺企業の**3割**が、利用ICを白河中央スマートICへ変更。
 令和2年は新型コロナ感染拡大による緊急事態宣言以降、特大車の交通量が大幅に減少。
 大型車については仮置き場から中間貯蔵施設への除去土壌の搬出量増加によりさらに増加。

■白河中央スマートICフル規格化

運用開始日：平成29年10月1日
 利用時間：24時間
 利用対象車：ETCカードと車載器を搭載した全車両
 規格：長さ12メートルを超える車両についても利用可能となる。

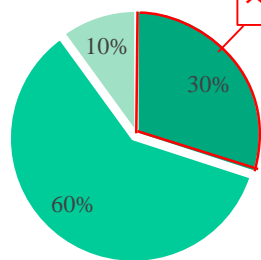


▼フル規格化前後の特大車交通量の推移



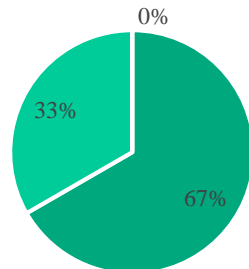
▼フル規格化後の利用ICの変化

フル規格化の前後で利用するICが変わった割合



■ 変わった ■ 変わらない ■ 高速道路を利用していない

フル規格化の前後で利用するICが変わった理由



■ 車長の制限が解除されたため
 ■ 業務の内容(行先)が変わったため
 ■ 高速道路料金節約のため

白河中央スマートICフル規格化 アンケート結果より

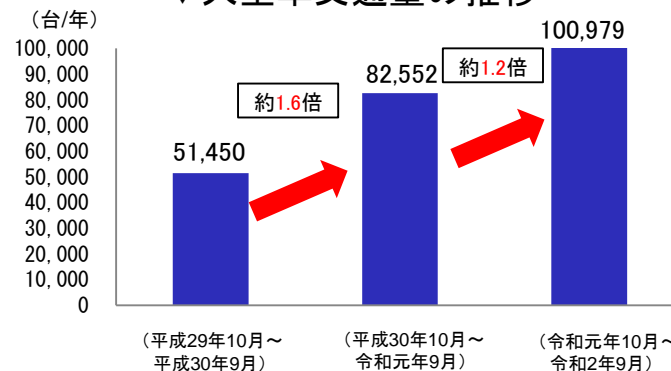
フル規格化に関する白河中央スマートIC利用企業の声



- ・目的地までの時間短縮のメリットを感じている。
- ・一般道の渋滞を回避することができるのがメリット。

白河中央スマートICフル規格化 アンケート結果より

▼大型車交通量の推移

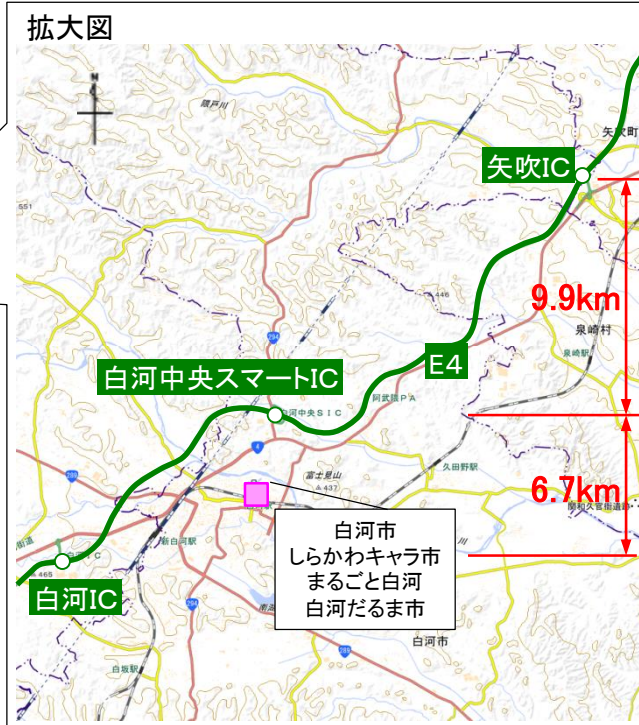


※前年度に比べ約1.8万台の増加を確認。大型車の通行量については年々増加傾向。仮置き場から中間貯蔵施設への除去土壌搬出量の増加が主要因。

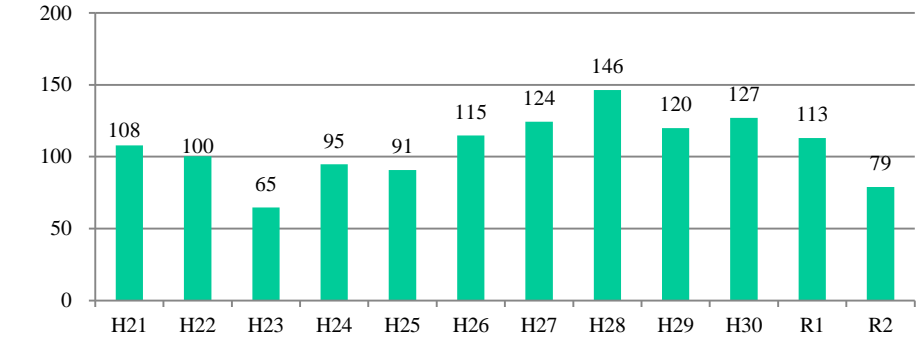
出典：NEXCO東日本

- 白河市では、観光交流人口の拡大を目指し、観光イベントを実施しているが、令和2年は緊急事態宣言以降、イベントを自粛したため、白河市全体の観光客は減少。
- スマートインターの1日の交通量も令和2年は約10%減少。

■位置図



▼白河市観光イベントの入込客数の推移



出典: 白河市

南湖公園

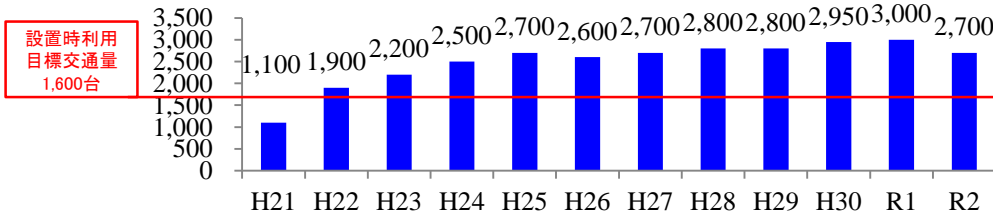


小峰城



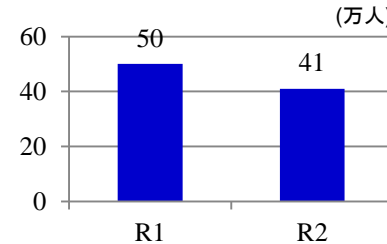
■白河中央スマートICの交通量推移

(台/日)

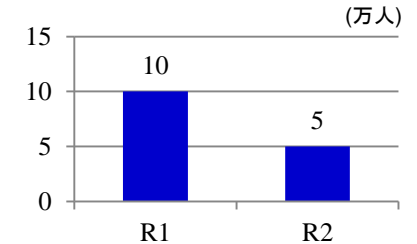


出典: NEXCO東日本

▼南湖公園観光客数比較



▼小峰城観光客数比較



出典: 白河市